



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 三精テクノロジーズ株式会社
コード番号 6357 URL <http://www.sansei-technologies.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良知 昇

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 板垣 治

TEL 06-6393-5621

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|---|------|------|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 26,931 | 18.7 | 363 | | 227 | | 409 | |
| 2022年3月期第3四半期 | 22,681 | | 379 | | 439 | 96.1 | 87 | |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,651百万円 (200.6%) 2022年3月期第3四半期 549百万円 (40.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 22.06 | |
| 2022年3月期第3四半期 | 4.72 | 4.65 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 74,751 | 34,113 | 45.4 | 1,827.84 |
| 2022年3月期 | 65,401 | 33,073 | 50.3 | 1,777.15 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 33,925百万円 2022年3月期 32,885百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | 17.50 | | 17.50 | 35.00 |
| 2023年3月期 | | 17.50 | | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | 17.50 | 35.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 40,500 | 17.7 | 2,000 | 92.3 | 2,000 | 6.4 | 1,500 | 3.5 | 81.06 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期3Q | 19,332,057 株 | 2022年3月期 | 19,332,057 株 |
| 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 771,810 株 | 2022年3月期 | 827,249 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期3Q | 18,541,736 株 | 2022年3月期3Q | 18,505,052 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限が緩和されたほか、政府による観光支援策の後押しもあって引き続き持ち直しの動きがみられましたが、エネルギー価格高騰や円安を起因とするコスト増などの影響も出始めています。また、世界経済の先行きを見ても、新型コロナウイルスの再拡大や、ウクライナ侵攻の長期化による資源価格、食糧価格等の上昇によるインフレ懸念が継続しており、さらに半導体をはじめとする電子部品の供給不足、急激な為替変動など、依然として予断を許さない状況が続いています。

当社事業においては、遊戯機械では受注環境が回復しつつあり、新設ライドや補修部材の需要が高まっているほか、舞台機構の分野ではコンサートやイベントの開催が本格化しており、仮設舞台装置の需要が高まっています。一方で、常設の舞台機構では前期の大型の新設・修理案件の反動があったことや諸コストの増加などの影響を受けました。

この結果、売上高は26,931百万円（前年同期比18.7%増）、営業損失は363百万円（前年同期は営業損失379百万円）、経常損失は227百万円（前年同期は経常利益439百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は409百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益87百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。）

遊戯機械

受注環境が回復している海外を中心に工事が順調に進捗したほか、補修部品の需要も引き続き伸びたものの、一部不採算工事の影響もあり、セグメント売上高は13,598百万円（前年同期比29.8%増）、セグメント損失は228百万円（前年同期はセグメント損失687百万円）となりました。

舞台設備

新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなり、コンサートやイベントが本格的に再開し、これら向け仮設舞台装置の需要が回復してきているものの、常設の舞台機構では新設工事で諸コストの増加などの影響を受けたほか、改修工事については前期に大型の好採算案件があったことからの反動などから、セグメント売上高は9,325百万円（同9.6%増）、セグメント利益は659百万円（同24.6%減）となりました。

昇降機

公共施設や集合住宅用の改修工事が着実に進捗したことに加え、保守・メンテナンス事業も引き続き堅調に推移したものの、一部の施設で不採算工事もあり、セグメント売上高は3,918百万円（同7.5%増）、セグメント利益は392百万円（同21.7%減）となりました。

その他

セグメント売上高は88百万円（同78.6%増）、セグメント利益は31百万円（同328.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ9,349百万円増加し、74,751百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が2,453百万円、現金及び預金が2,303百万円、電子記録債権が1,263百万円、仕掛品が832百万円それぞれ増加したことなどによります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ8,309百万円増加し、40,637百万円となりました。これは主に、契約負債が5,601百万円、短期借入金が2,677百万円増加したことなどによります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,040百万円増加し、34,113百万円となりました。これは主に、配当金の支払いなどにより利益剰余金が1,057百万円減少したのに対し、円安進行により為替換算調整勘定が2,200百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点において2022年5月13日に公表した数値を見直しておりません。例年通り年度末にかけて常設の舞台設備や昇降機で官公庁工事の進捗を予定しているほか、引き続き遊戯機械で海外を中心に好調な受注と工事の進捗、国内の仮設舞台装置での需要の取り込みなどを見込んでいます。今期の業績の推移により、見直しの必要性が生じた場合には、すみやかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 14,225,298 | 16,529,195 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 18,756,079 | 21,209,860 |
| 電子記録債権 | 276,606 | 1,539,918 |
| 仕掛品 | 498,927 | 1,331,192 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,477,804 | 2,793,072 |
| その他 | 2,076,551 | 3,749,769 |
| 貸倒引当金 | △876,265 | △809,985 |
| 流動資産合計 | 37,435,002 | 46,343,023 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,943,983 | 5,143,255 |
| 土地 | 4,239,690 | 4,284,961 |
| その他（純額） | 1,204,192 | 1,579,403 |
| 有形固定資産合計 | 10,387,865 | 11,007,620 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 8,156,084 | 8,181,260 |
| その他 | 1,561,230 | 1,489,862 |
| 無形固定資産合計 | 9,717,314 | 9,671,122 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,824,405 | 5,615,829 |
| その他 | 2,037,622 | 2,114,094 |
| 貸倒引当金 | △462 | △462 |
| 投資その他の資産合計 | 7,861,565 | 7,729,461 |
| 固定資産合計 | 27,966,745 | 28,408,205 |
| 資産合計 | 65,401,748 | 74,751,228 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,173,831 | 2,680,572 |
| 短期借入金 | 3,965,110 | 6,642,910 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,365,520 | 1,181,012 |
| 未払法人税等 | 400,806 | 188,589 |
| 未払消費税等 | 306,004 | 66,846 |
| 契約負債 | 6,298,307 | 11,900,242 |
| 賞与引当金 | 516,852 | 343,696 |
| 役員賞与引当金 | 32,712 | 11,547 |
| 工事損失引当金 | 141,304 | 351,511 |
| その他 | 2,165,716 | 3,223,521 |
| 流動負債合計 | 17,366,166 | 26,590,447 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 11,790,693 | 11,209,809 |
| 繰延税金負債 | 847,195 | 633,531 |
| 退職給付に係る負債 | 2,277,312 | 2,111,001 |
| その他 | 47,322 | 93,070 |
| 固定負債合計 | 14,962,524 | 14,047,412 |
| 負債合計 | 32,328,690 | 40,637,860 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,251,279 | 3,251,279 |
| 資本剰余金 | 2,442,954 | 2,451,864 |
| 利益剰余金 | 25,039,798 | 23,982,061 |
| 自己株式 | △416,780 | △388,920 |
| 株主資本合計 | 30,317,252 | 29,296,284 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,866,272 | 1,723,190 |
| 繰延ヘッジ損益 | 76 | △28 |
| 為替換算調整勘定 | 697,940 | 2,898,129 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 4,305 | 7,571 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,568,594 | 4,628,862 |
| 新株予約権 | 187,210 | 188,221 |
| 純資産合計 | 33,073,057 | 34,113,368 |
| 負債純資産合計 | 65,401,748 | 74,751,228 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 22,681,408 | 26,931,714 |
| 売上原価 | 16,722,076 | 20,493,750 |
| 売上総利益 | 5,959,331 | 6,437,963 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,339,053 | 6,801,527 |
| 営業損失(△) | △379,721 | △363,564 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,568 | 19,625 |
| 受取配当金 | 141,445 | 159,073 |
| 保険配当金 | 338,352 | 52,862 |
| 助成金収入 | 420,229 | 45,108 |
| その他 | 99,807 | 72,870 |
| 営業外収益合計 | 1,003,403 | 349,541 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 176,801 | 208,478 |
| 支払手数料 | 4,063 | 3,824 |
| 為替差損 | 1,295 | - |
| その他 | 1,600 | 1,501 |
| 営業外費用合計 | 183,760 | 213,803 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 439,922 | △227,826 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 45 | 3,177 |
| 特別利益合計 | 45 | 3,177 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 439,967 | △224,649 |
| 法人税等 | 352,626 | 184,448 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 87,340 | △409,098 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 87,340 | △409,098 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 87,340 | △409,098 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △140,059 | △143,082 |
| 繰延ヘッジ損益 | △3,338 | △105 |
| 為替換算調整勘定 | 598,893 | 2,200,189 |
| 退職給付に係る調整額 | 6,507 | 3,266 |
| その他の包括利益合計 | 462,003 | 2,060,267 |
| 四半期包括利益 | 549,344 | 1,651,169 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 549,344 | 1,651,169 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産又は流動負債として繰延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。